

令和5年9月

伊東市議会 9月定例会

決算大綱質疑要旨

伊東市議会

決 算 大 綱 質 疑 順 序

- 1 正 風 ク ラ ブ 青 木 敬 博 君
(8月28日(月) 10時～11時50分)
- 2 自 民 ・ 維 新 の 会 中 島 弘 道 君
(8月28日(月) 13時～14時)
- 3 公 明 党 鳥 居 康 子 君
(8月28日(月) 14時10分～15時10分)
- 4 清 友 会 杉 本 憲 也 君
(8月29日(火) 10時～10時45分)
- 5 日 本 共 産 党 佐 藤 龍 彦 君
(8月29日(火) 10時55分～11時40分)
- 6 無 党 派 颯 田 久 保 眞 紀 君
(8月29日(火) 13時～13時45分)
- 7 会 派 に 所 属 し て い な い 四 宮 和 彦 君
(8月29日(火) 13時55分～14時20分)

※ 質疑時間は、進行状況によって変更することがあります。

決算大綱質疑要旨

正風クラブ 青木敬博

- 1 令和4年度一般会計歳入決算に関し、以下2点伺う。
 - (1) 入湯税について、前年度に比べ増加しているもののコロナ前の水準に戻ってきていないことから、これをどのように分析しているか伺う。
 - (2) ゴルフ場利用税交付金が前年度と比較して9.5%増加していることから、これをどのように分析しているか伺う。
- 2 令和4年度一般会計歳出決算に関し、以下5点伺う。
 - (1) 第2款総務費について、以下9点伺う。
 - ア SDGs推進事業補助金の実績について伺う。
 - イ コワーキングスペース整備事業補助金の実績について伺う。
 - ウ サテライトオフィス等推進事業の実績及び今後の課題について伺う。
 - エ ふるさと伊東応援寄附金返礼事業の実績を伺うとともに、今後、さらにふるさと納税による寄附金額を上げるための取組を伺う。
 - オ 移住定住促進事業における関係人口創出事業の実績について伺う。
 - カ 移住就業支援事業補助金の実績について伺う。
 - キ お試し移住支援事業補助金の実績及び今後の取組について伺う。
 - ク 移住定住促進空き家改修支援事業補助金の実績及び今後の取組について伺う。
 - ケ 情報化推進事業における自治体DX推進事業の実績について伺う。

- (2) 第3款民生費について、以下3点伺う。
- ア 成年後見支援センター運営事業の実績について伺う。
 - イ はじめよう I T O 新生活応援事業の実績、課題及び今後の方向性について伺う。
 - ウ 価格高騰緊急支援給付金給付事業について、家計急変世帯等への対応実績について伺う。
- (3) 第4款衛生費における、ふれあい収集事業の現状及び今後の方向性について伺う。
- (4) 第7款観光商工費について、以下6点伺う。
- ア 観光消費動向等調査委託料の実績を伺うとともに、調査方法を変更したことでのような効果があったか伺う。
 - イ デジタルマーケティング事業の実績について伺う。
 - ウ 観光プロモーション推進事業の実績及び今後の取組について伺う。
 - エ 伊東産活力創出事業補助金の事業効果及び今後の見通しについて伺う。
 - オ 商店街テナントミックス構築実証事業補助金の実績について伺う。
 - カ キャッシュレス決済ポイント還元事業の実績について伺う。
- (5) 第8款土木費について、以下2点伺う。
- ア 生活路線バス運行事業補助金の実績及び今後の見通しについて伺う。
 - イ 予防伐採事業の効果及び伐採箇所の選定方法について伺う。

- 3 介護保険事業特別会計における保険給付費は年々増加しているが、令和4年度の実績を伺うとともに、今後の保険給付費の推移をどのように見込むのか伺う。

決算大綱質疑要旨

自民・維新の会 中島弘道

令和4年度伊東市各会計歳入歳出決算を踏まえ、以下3点伺う。

1 一般会計歳入について、以下3点伺う。

(1) 市税収入について、全体で対前年度比4億1,271万6,452円、4.0%の増、特に固定資産税は2億1,091万9,011円、4.2%の増となるなど各税目で増額となっているが、当初予算額との比較では、固定資産税、軽自動車税、都市計画税については予算額を下回っている。これらを踏まえ、市内経済の現状と今後の見通しをどのように捉えているか伺う。

(2) 市税全体の収入未済額は5億609万2,403円で、対前年度比12.5%の減となっているが、その要因と今後の見通しを伺う。

(3) ふるさと伊東応援寄附金の増額要因及び今後の見通しを伺う。

2 一般会計歳出について、令和4年度各会計予算案公表資料において、主要事業及び拡充事業とされた以下の事業に関し、これらを実施したことによる効果、課題及び今後の展望について伺う。

(1) 第2款総務費におけるスカイポート亀石解体事業

(2) 第3款民生費

ア 結婚支援事業

イ 市立保育園ICT導入事業

ウ 保育士等処遇改善事業

- (3) 第4款衛生費における街頭防犯カメラ設置補助事業
- (4) 第7款観光商工費におけるワーケーション推進事業
- (5) 第8款土木費における木造住宅除却助成事業
- (6) 第9款消防費における伊豆東部火山群広域避難計画策定事業
- (7) 第10款教育費におけるコミュニティ・スクール推進事業

3 特別会計について、以下3点伺う。

- (1) 介護保険事業特別会計に関し、歳出総額が対前年度比2億33万8,897円、2.3%の増となっており、また、一般会計から前年度を上回る13億7,116万4,000円の繰入金を受け入れているが、今後の介護保険事業の見通しを伺う。
- (2) 後期高齢者医療特別会計に関し、歳出総額が対前年度比1億187万3,598円、4.7%の増となっており、また、一般会計から前年度を上回る11億8,952万6,205円の繰入金を受け入れていることから、その要因及び今後の見通しを伺うとともに被保険者数の推移を伺う。
- (3) 霊園事業特別会計に関し、合葬式墓地建設工事事業の進捗状況及び今後の展望について伺う。

決算大綱質疑要旨

公明党 鳥居康子

令和4年度歳入歳出決算に関し、以下8点伺う。

- 1 新型コロナウイルス感染症が発生し、市民生活等に様々な影響を及ぼしてから3年目の年となる令和4年度決算をどのように評価しているのか伺う。

- 2 ふるさと伊東応援寄附金の増加要因について伺う。

- 3 決算概要説明によると、「燃料費や物価高騰により物件費が10.6%増加している」とあるが、金額ベースではどの程度の増加であったのか伺う。

- 4 「誰もが健やかに暮らし活躍できるまち」に関し、以下2点伺う。
 - (1) 保育園施設の老朽化に対する整備の取組状況について

 - (2) 幼稚園において、質の高い幼児教育を維持するためのICT化への取組状況について

- 5 令和4年度の施政方針において、認定こども園の整備に向けた検討を進めるとされていたが、その進捗状況について伺う。

6 一般会計歳出第2款総務費に関し、以下2点伺う。

(1) 市民参画推進事業におけるSDGs推進事業補助金の実績について伺う。

(2) 移住定住促進事業における移住就業支援事業補助金及びお試し移住支援事業補助金の実績について伺う。

7 一般会計歳出第3款民生費に関し、以下2点伺う。

(1) はじめようITO新生活応援事業の実績と事業効果について伺う。

(2) ひとり親家庭支援事業におけるひとり親家庭相談支援事業及び高等職業訓練促進給付金等事業の実績について伺う。

8 一般会計歳出第7款観光商工費におけるキャッシュレス決済ポイント還元事業の実績及び事業効果について伺う。

決 算 大 綱 質 疑 要 旨

清友会 杉本 憲也

令和4年度決算に関し、以下3点伺う。

1 決算概要説明書では、本市は財政の健全性が維持できている旨の結論づけがなされている一方、冒頭の総括においては、あたかも本市の現在の財政が不健全であるかのようにとれる「財政健全化に向けた」という表現をしているほか、少なくとも令和4年度予算に関するこれまでの議会答弁でも「財政状況が厳しい」「財源がない」などの発言が目立つことから、令和4年度決算に鑑み、本市の財政の健全性について、市長の見解を伺う。

2 行政運営の考え方として、市民福祉の実現に不可欠な事業を行うのに必要十分な歳入を確保することが原則であるとするれば、歳出を大きく上回る歳入が発生することは見込み誤りとして好ましくないことになるが、この点を踏まえ、以下3点について、市長の見解を伺う。

(1) 一般会計歳出決算について、未執行率が5.2%に至ったことの適正性について

(2) 実質収支額8億6,472万6,412円の余剰金たる黒字が生じたことに鑑み、令和4年度の市民ニーズに対する事業執行の必要十分性の適否の観点から、各課の予算要求額に前年度当初予算額の100%の上限を設けるなど令和3年度よりも歳出規模を絞らせる予算編成方針とした政策判断の適正性について

(3) 年度間の財源調整のための基金である財政調整基金について、本市の適正な積立額の考え方を伺うとともに、本市の令和4年度末の残高が34億1,138万6,915円、今年度にさらに4億5,000万円の積み増しが見込まれることにつき、その残高の適正性について

- 3 国際観光温泉文化都市である本市において、文化芸術に関する経費の歳出割合を伺うとともに、その必要十分性について、市長の見解を伺う。

決 算 大 綱 質 疑 要 旨

日本共産党 佐藤龍彦

- 1 令和4年度にスタートした伊東市DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進計画について、どのような市民の利便性の向上や行政事務の効率化が図られたか、その進捗状況を伺うとともに、見えてきた課題及び今後の見通しを伺う。

- 2 移住定住促進事業について、以下2点伺う。
 - (1) 令和4年度に新たに取り組まれたお試し移住支援事業補助金及び移住定住促進空き家改修支援事業補助金の実績について

 - (2) 上記の事業以外で、これまでに取り組まれた各種事業の評価について

- 3 令和4年度2学期及び3学期に実施した給食費の免除について、どのような検討がされたか伺うとともに、歳入への影響額も含めた事業の総額を伺う。

決 算 大 綱 質 疑 要 旨

無党派 颯 田久保 眞 紀

令和4年度伊東市一般会計決算について、以下3点伺う。

- 1 令和4年度決算を踏まえ、財政健全化に向けて着実に前進が図られている、と市政報告書にはあるが、どのように財政健全化が推進されたのか伺う。

- 2 森林環境整備事業について、本市では森林環境譲与税を活用し、どのような森林環境整備を行ったか、その事業内容及び成果を伺う。

- 3 観光商工費における以下の事業について、令和4年度はどのような効果を見込んで事業を行い、どのような成果を得たか伺う。
 - (1) YUKATAにぎわい演出事業

 - (2) 観光プロモーション推進事業

 - (3) デジタルマーケティング事業、外国人観光客誘致活動推進事業、ワーケーション推進事業などインターネットを活用した広告配信事業

 - (4) まくら投げプロモーション事業

 - (5) まちなかにぎわい創出事業

決算大綱質疑要旨

四 宮 和 彦

令和4年度決算を踏まえ、財政調整基金について、以下3点伺う。

1 財政調整基金の目的は、一般に、年度間の財源調整や大規模災害などの不測の事態が発生した際の活用にあるとされるが、本市においては、同基金について主にどのような用途を想定しているか伺う。

2 同基金を財源調整の資金として充当した過去の事業には、どのようなものがあったか伺う。また、そうした事例中、最大の充当額はどれだけになるか伺う。

3 令和4年度末基金残高34億1,138万6,915円は、積立額の目安である、標準財政規模164億2,119万5,000円に対して、約20.8%に当たるが、これは妥当な水準にあると言えるか伺う。